

製品名: BNIP-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07619**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	22kDa

抗原情報

遺伝子名	BNIP3
別名	BNIP3; NIP3; BCL2/adenovirus E1B 19 kDa protein-interacting protein 3
遺伝子 ID	664.0
SwissProt ID	Q12983
免疫原	抗血清はヒト BNIP3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 71-120

背景

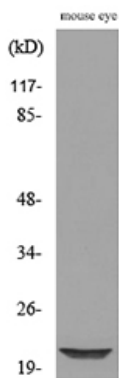
この遺伝子は、BH3 ドメインを含むミトコンドリアタンパク質をコードし、アポトーシス促進因子として作用します。コードされた

タンパク質は、E1B 19 kDa タンパク質や Bcl2 などの抗アポトーシスタンパク質と相互作用します。この遺伝子は、腫瘍において DNA メチル化によってサイレンシングされています。[RefSeq 提供、2014 年 12 月]機能: BCL2 の抑制を克服できるアポトーシス誘導タンパク質。BCL2 と共存し、2つの主要な細胞内カルシウムストア間でカルシウムの再分配に関与している可能性があります。類似性: NIP3 ファミリーに属します。細胞内局在: E1B 19 kDa タンパク質との共発現は、NIP3 の局在パターンを核膜へシフトさせます。サブユニット: ホモ二量体。BCL2 に結合します。BNIP3L と相互作用します。アデノウイルス E1B 19 kDa タンパク質またはエプスタイン・バーウイルス BHRF1 とも相互作用します。

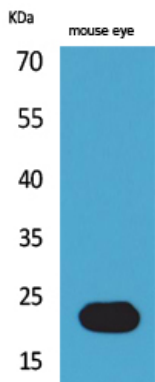
研究分野

細胞生物学

画像データ



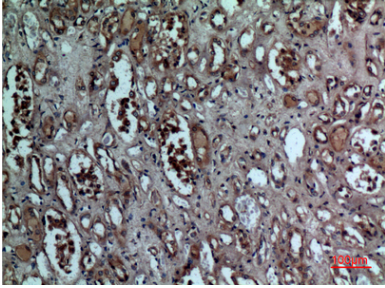
BNIP3 抗体を使用したマウス眼細胞溶解物のウェスタンブロット分析。



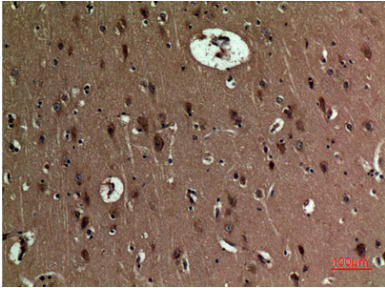
BNIP-3 ポリクローナル抗体を用いたマウス眼細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された